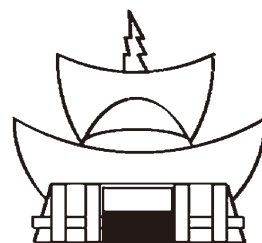


いわで

議会だより

2026.6



No.80



目次 CONTENTS

- 祝！岩出市誕生20周年 …………… 2
 - いわで議会だより創刊20年 …………… 3
 - 第1回臨時会・第1回定例会議決結果 …… 4
 - 一般質問項目 …………… 5
 - 発議（意見書） …………… 13
 - 連載；キラリみらいVoice …………… 14
- 6月議会の開催予定

作品名：一乗閣

制作者：大場 健二さん

和歌山県 岩出市議会

編集／議会広報常任委員会

岩出市議会ウェブサイト <https://www.city.iwade.lg.jp/site/gikai/>



岩出市議会ウェブサイト



岩出市誕生20周年



岩出市制施行20周年
IWADE CITY



令和8年4月1日、単独市制施行から20周年を迎え、市と市議会の共催により、4月19日、岩出市制施行20周年記念式典を岩出市民総合体育館で開催しました。

式典には、関係者など450名が出席。岩出市コーラスクラブによる国歌斉唱、市民歌斉唱。県立那賀高等学校の生徒による市民憲章朗唱後、中芝市長の式辞と玉田議長の挨拶で、20年間のあゆみを振り返りました。

その後、市制施行20周年記念ロゴマーク・キャッチコピー最優秀賞・優秀賞受賞者表彰、公共施設合同竣工式、来賓のご祝辞をいただき、最後に三栖副議長の閉式の辞で式典を終了しました。

式典後は、第2部として岩出警察署による講演と和歌山県警察音楽隊による記念演奏会が行われました。



市制施行20周年記念 岩出市観光案内所完成記念式典



去る4月1日に岩出市は「市制施行20周年」を迎えました。

市の誕生から1か月遅れの平成18年5月に「いわで市議会だより」を発行。平成22年9月に「いわで議会だより」に改め、年4回発行を続けながら、今回の発行で第80号となりました。

今後も「手に取って読みたくなる議会だより」を目標に紙面づくりに取り組んでまいりますので、引き続きご愛読をよろしくお願いたします。

いわで市議会だより (第1号)の概要



- ①発行年月日
平成18年5月1日
- ②当時の議員定数
18名
- ③当時の人口・世帯数
51,283人
18,910世帯
- ④内容
平成18年第1回定例会の報告
議案71件、議員提出議案8件
一般質問で12名が市政を問う
3常任委員会報告
意見書の提出2件
- ⑤議会だより編集委員会委員
8名



現在の
議会広報常任委員会

令和8年第1回臨時会・第1回定例会議決結果

◆ 全会一致の議案等

案 件 名	結果
令和8年 第1回臨時会	
専決処分の承認を求めることについて（令和7年度岩出市一般会計補正予算第6号）	承認
専決処分の承認を求めることについて（令和7年度岩出市一般会計補正予算第7号）	承認
令和7年度岩出市一般会計補正予算（第8号）	可決
令和8年 第1回定例会	
岩出市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
岩出市行政手続条例の一部改正について	可決
職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
岩出市人権尊重のまちづくり条例の制定について	可決
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決
令和7年度岩出市一般会計補正予算（第9号）	可決
令和7年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
令和7年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	可決
令和7年度岩出市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
令和7年度岩出市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
令和8年度岩出市介護保険特別会計予算	可決
令和8年度岩出市墓園事業特別会計予算	可決
令和8年度岩出市水道事業会計予算	可決
令和8年度岩出市下水道事業会計予算	可決
岩出市農業委員会委員の任命について（14名） 勢田幸治氏、吉村学氏、林光彦氏、亀井裕司氏、村山嘉伸氏、新崎裕功氏、辻清子氏、東由美子氏、奥田喜内氏、福田彰伯氏、鳥羽孝幸氏、池田恒雄氏、藤井雅司氏、岸谷忠彦氏	同意
岩出市教育委員会委員の任命について（橋本正二郎氏）	同意
所得税法第56条の廃止及び関連条項の見直しを求める意見書の提出について	可決

◆ 賛否が分かれた議案等

案 件 名	結果	〇賛成 「×」反対 「-」賛否に加わっていない 「欠」欠席 ※ 議長は通常採決に加わらないため「/」としています。													
		公明党 議員団	創生岩出	郁青青 クラブ	ネット岩出	市 来 利 恵	杉 本 直 哉	福 岡 進 二	田 中 宏 幸	牛 田 佑 佳	尾 和 正 之	三 栖 慎 太 郎	井 神 慶 久	西 野 峻 也	福 山 晴 美
令和8年 第1回定例会															
岩出市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	×	
岩出市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	
岩出市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	
令和8年度岩出市一般会計予算	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	
令和8年度岩出市国民健康保険特別会計予算	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	×	
令和8年度岩出市後期高齢者医療特別会計予算	可決	/	〇	〇	欠	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	×	

※案件名は、正式議案名ではありません。

※物価高騰に対応する補正予算等を審議するため、2月16日から3日間、令和8年第1回臨時会を開催しました。

令和8年第1回定例会（3月議会）



一般質問

7人の議員が 市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

ふくおか しんじ 議員 6ページ

- ◎生成AIに対する小中学校の教育方針について
- ◎第51回衆議院議員総選挙について

おお うえ まさ はる 議員 7ページ

- ◎地震に伴って発生する通電火災を防ぐ感震ブレーカーについて
- ◎児童生徒のSNS利用と安全対策について

た ばた まさ あき 議員 8ページ

- ◎環境問題の制度活用について
- ◎交流人口増加施策について

い しみ よし ひさ 議員 9ページ

- ◎小中学校における生徒指導について
- ◎商業施設や駅前などに小中学生が集まっている状況への対応について
- ◎小中学校における交通安全教育について

いち きり え 議員 10ページ

- ◎高齢者のスポーツ施設について
- ◎安心して赤ちゃんを産める環境づくりについて
- ◎防災への備え、充実強化を目指して
- ◎学用品などの保護者負担軽減について

お わ まさ ゆき 議員 11ページ

- ◎岩出市の投票の状況について

うし だ ゆか 議員 12ページ

- ◎避難行動要支援者名簿及び個別避難計画について
- ◎障害特性に応じた避難所対応について
- ◎医療的ケアが必要な方の避難体制について

予算審査特別委員会

令和8年度岩出市一般会計予算を審査するため、3月11日、12日に開催し、慎重審査しました。審査の結果、可決すべきものと決定し、3月17日の本会議で報告いたしました。

予算審査特別委員（令和8年3月5日選任）

- ◎委員長 大上 正春 ○副委員長 福岡 進二
- 委員 西野 峻也、杉本 直哉、尾和 正之、牛田 佑佳

一般質問項目の事前公表 一般質問の質問者・項目は、事前にウェブサイトで公表しています。



ふくおか しんじ 議員
(ネット岩出)

近年、チャットGPTをはじめとする生成AIが急速に普及し、子どもたちの学習環境や生活にも既に大きな影響を与えている。

質問

①小中学校において、生成AIを児童生徒が利用することについて、どのような実態把握をしているのか。
②学校での方針はどのように考えているのか。
③教職員への生成AI活用研修及び個人情報保護に対する研修は。

答 弁 教育長

①今のところ、授業の中で生成AIは使用していない。また、児童生徒が家庭で所持するスマートフォンなどでの生成AI

生成AIに対する

教育方針は

の使用実態については把握していない。

②現在、岩出市立学校における生成AI活用推進方針を作成し、令和8年4月より運用を開始する予定。

③教員の生成AI活用研修も行っていく。



個人情報保護に対する

研修については、岩出市教職員研修の1つとして、令和6年12月、令和7年11月の2回、学校情報セキュリティ研修を行っている。

再 質 問

令和8年度の取組、スケジュール等の計画は。

答 弁 教育長

教職員研修を実施し、校務の中で教職員が生成AIを利用することで、教育の質の向上と業務負担軽減を図っていく。

第51回衆議院議員総選挙について

質 問

①総選挙における職員の動員人数、超過勤務時間の総時間は。

また、業務調整面での課題は。

②選挙事務の委託及び期日前投票所の増設についての考えは。

答 弁 行政委員会事務局長

①職員の動員人数
・期日前投票11日間で延べ174人。
・投票票日当日162人。
当日以外の準備期間を含めた超過勤務時間の総時間は、3504時間。

業務の調整については、通常業務には極力支障がないよう調整を行っているが、選挙期間と市のイベントや自然災害等が重なった場合には、人員の確保が困難となるのが課題である。

②令和6年10月執行の衆議院選挙から、投票所ス



市役所1階の期日前投票所

タッフの一部に民間事業者を活用し、今回の衆議院選挙でも、総勢23名の人材派遣を契約した。

また、期日前投票所の増設について、事務に従事する職員や投票所立会人の確保、不測の事態への迅速な対応等に課題があるため、現状では困難であると考えている。

しかし、近年、期日前投票者数が増加傾向にあることから、事務の民間事業者の活用拡大と併せて検討する必要があると考えている。



おおうえ まさはる
大上 正春 議員
(公明党議員団)

感震ブレーカー設置に補助を

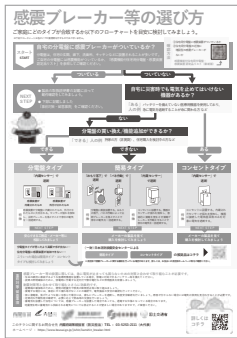
地震後に発生する通電火災を防ぐための有効な対策として、全国的に感震ブレーカーの普及が進められている。

質問

①通電火災の危険性について、どのような認識を持っているのか。
②通電火災防止に感震ブレーカーが果たす役割についての見解は。
③設置に当たり補助制度を導入する考えは。

答 弁 総務部長

①過去の震災等において、電気関係による火災が被害拡大の一因になっていることから、危険性が高いものと認識している。
②一定以上の揺れを感知した際に、自動的に電気を遮断するものであり、通電火災防止に有効であると認識している。
③市独自の補助制度を導入する予定はない。



国の啓発チラシ

再 質 問
地震発生直後にブレーカーの操作が困難な高齢者世帯や要配慮世帯などを対象に、モデル的に補助制度を導入しては。

答 弁 総務部長

県内、他市町の状況を見ると、要配慮者が属する世帯を対象に、補助を行っているところが多い。今後、要配慮者が属する世帯に対する補助というところも含め、他市の状況を勘案しながら研究していく。

児童生徒のSNS利用と安全対策について

児童生徒がSNSを日常的に利用している。便利な側面があるが、子ども達を危険にさらすリスクも指摘されている。

質問

①児童生徒の利用実態と、トラブルや相談等について、どのように把握しているのか。
②学校での情報モラル教育やSNSの危険性に関する指導及び保護者向け啓発はどのように行っているのか。

答 弁 教育部長

①利用割合は、
・小学校 50・3%
・中学校 89・5%
SNSの連絡アプリで誹謗中傷の書き込みなどのトラブルが発生し、保護者から相談が寄せられ、その都度、指導している。
②小学校では、啓発チラシの配布、携帯電話会社の出前授業。中学校では、

入学式での注意喚起、和歌山弁護士会の出前授業、人権冊子配布など。保護者を含め啓発。

再 質 問

SNS利用率の現状をどう受け止めているか。

答 弁 教育部長

児童生徒が一定水準の情報リテラシーを身につける支援と、保護者への啓発として不適切サイトへのブロックなど、セーフティネットの取組が必要と考えている。



環境価値による 財源活用を



たばた まさひろ 議員
(公明党議員団)

本市は、公共施設の蛍光灯のLED化が進み、CO₂削減など環境施策が図られている。

国は2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指し、J-クレジット制度を創設した。

この制度は、施設の省エネルギー化設備の導入などによって削減されたCO₂排出量を国が認証し、企業と取引することで新たな財源確保につながる可能性がある。

質問

J-クレジット制度でCO₂削減量を認定し、企業へ売却する考えは。

答 弁 総務部長

第5次岩出市地球温暖化対策実行計画に基づき、CO₂削減目標の達成を優先する必要がある。

また、制度活用には専門的な知識が必要であり、委託料も多大であるため、費用対効果から現段階で活用予定はないが、先行自治体の事例や公共施設のLED化等による削減

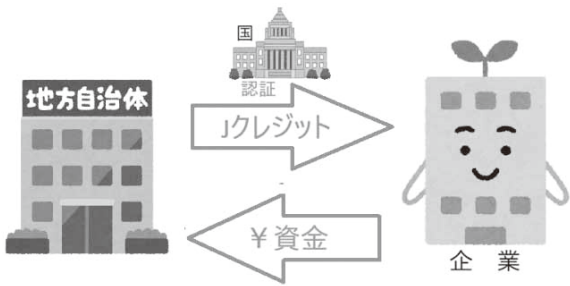
効果を踏まえ、制度活用の可能性を研究していく。

再質問

本市では、CO₂排出量を抑えたクリーンセンター焼却炉改修も進められているが、J-クレジット制度の対象となる可能性はないのか。

答 弁 総務部長

クリーンセンターの基幹的改良設備工事は二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用しており、補助金要綱で認められていないためJ-クレジット制度は活用できない。



交流人口から関係人口へ

本市は、交流人口の拡大として、地域おこし協力隊の活用や観光案内所整備などを進めている。

国は、居住地とは別に、関係のある地域を登録する、ふるさと住民登録制度を検討している。

この制度は、応援したい自治体を登録し、観光情報やイベント情報などを受け取り、その地域と継続的につながることを目的とした制度である。

質問

交流人口や関係人口の増加のため、ふるさと住民登録制度導入の考えは。

答 弁 市長公室長

当該制度は国において検討中であり、詳細が明らかになっていないため、制度内容や費用規模等が示された段階で検討したいと考えている。

再質問

観光案内所やSNSなど既存施策を活用し、交流人口を関係人口へつなげる仕組みづくりについて

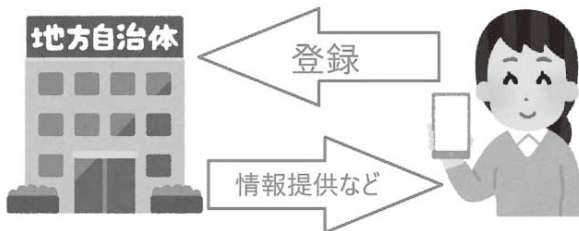
ての考えは。

答 弁 市長公室長

観光案内所で、根来地域を目的に来訪した方へ市全体の周遊や消費につながる行動を後押しする。地域おこし協力隊の収集した市内の情報を観光協会のSNSで発信したり、案内所へ訪れた方が触れる情報で協力隊や地域と繋がってもらおう。

現在、本市で活用しているSNSについても、観光案内所と連携し、来訪者にも周知し交流人口、関係人口を増やしていく。

ふるさと住民登録制度



小中学校の生徒指導について

近年、学力向上やICT教育等が注目される一方で、基本的な挨拶、また、会釈やお辞儀、相手を気遣う言葉等、基本的な礼儀が重要であることは言うまでもない。

挨拶は人と人をつなぐ最も基本的な行為であり、社会性や思いやりを育てる第一歩である。学校での挨拶が家庭や地域での関係を育み、将来の社会生活につながる重要な要素であると考える。



井神 慶久 議員
(創生岩出)

質問

①小中学校における挨拶等の基本的なマナー教育の方針は。

②先生方の共通認識は。

また、学校・家庭・地域と連携した取組は。

答 弁 教育部長

①②挨拶がなぜ必要なのかを、円滑な人間関係を築くための社会に必要なスキルとして捉え、道徳や特別活動で指導する事を各学校で共通認識し方針としている。

小中学校の合同清掃や、登下校の際に地域や保護者の方々と挨拶を交わすことが浸透している。挨拶等のマナー教育を含め、教育は学校でするものという固定概念を打破し、家庭・地域がそれぞれの

当事者意識を持って取り組む重要性を示唆するものと考えている。

小中学生への生徒指導は

質問

商業施設や駅前などに小中学生が集まっている状況への指導・対応は。

答 弁 教育部長

各学校に確認したところ、商業施設での迷惑行為の類に値する苦情は最近認識していない。駅前の駐輪場で集まっている場合は教員が指導を行っている。

夜間や休日の補導・指導は警察が担うこととなる。青少年センターでは、関係機関・団体と連携し、青少年の補導・啓発による非行防止対策に努めている。

小中学校における交通安全教育について

質問

①自転車の交通安全教育の内容は。

②道路交通法改正について、どのように周知し、子ども達に理解させているのか。

答 弁 教育部長

①教育計画の中で学校安全計画を作成。岩出警察署の協力を得て道路の歩き方や自転車の乗り方等のルールやマナーを学ぶ



交通安全教室を実施。

②小学校では、罰則規定の内容よりもヘルメットの着用も含め、自転車に乗る時のルールについて徹底して指導している。

中学校では、学級・学年単位や部活動単位でも自転車のルールが厳しくなっていくことについて指導をしている。16歳未満は青切符の対象にはならないが、交通違反の認知があった場合は、警察による指導警告があることも指導している。



いちき りえ 議員
市来 利恵 議員

防災への備えの充実を

質問

①避難所及び福祉避難所ごとの個別運営計画は、策定しているか。

②大規模地震などが発生した場合、多くの外部支援が入ることも想定される。自衛隊・医療支援チームなどの活動拠点となる場所の確保は、どの施設を想定しているのか。

③備蓄物資は、災害時に迅速に避難所へ搬送し、被災者へ届ける体制が重要。搬送や配布についてどのような体制を想定しているのか。

④地域防災力を高めるためには、地域の担い手の育成が重要。日本防災士機構が認証する防災士の登録制度を整えている自治体が多くなっている。

登録制度導入の考えは。

答 弁 総務部長

①避難所における運営体制や役割分担を定めた避難所運営マニュアル。総合保健福祉センターや小中学校における岩出市避難所開設初動マニュアルを定めている。



②自衛隊は、若もの広場や市民総合体育館駐車場などを活動拠点に。

医療支援チームは、総合保健福祉センターの活用を想定している。また、令和8年度、災害対策活動拠点整備事業を進める。

③市職員並びに協定締結事業者の協力を得ながら、対応することとしている。

④防災士の活動は、地域の自主的な取組として広がっていくことが望ましいと考える。登録制度を設けて管理する仕組みの導入は考えていない。

再 質 問

①総合保健福祉センターでは、障がいに合わせた部屋分割、部屋の役割等のマニュアルはあるのか。

②備蓄の乳幼児に必要な

粉ミルクが1か所に集中している。分散する考えは。

③防災士として知り得た情報や、学びを市民に伝える活動などが重要となる。管理という考えではなく、協力という形での登録制度を。

答 弁 総務部長

①具体的にはできていない。福祉避難所の所管課を中心に、今後検討する。

②分散備蓄を検討する。

③地域の防災力の向上に防災士の力、重要であると認識している。今後、勉強していく。

安心して赤ちゃんを産める環境を

質 問

①一年間の出産件数は、そのうち無痛分娩で出産



した件数は。

②無痛分娩に対応している医療機関はどれくらいあるのか。

③無痛分娩に対する助成支援制度の考えは。

答 弁 生活福祉部長

①令和7年4月から令和8年1月末までの赤ちゃん訪問は277人。

そのうち、無痛分娩は30人で10・8%。

②近隣8医療機関中4か所の医療機関が無痛分娩に対応。

③現在のところ助成する考えはない。



おわ まさゆき
尾和 正之 議員
(郁青クラブ)

動き出す岩出市 その内容は

この課題は、全国の多くの自治体で一般質問されており、本市でも同様に声を届けている。

これは、市民の関心事項であり、とても大切なことである。

日本は、国民が主権を持つている民主主義国家であり、選挙は、私たち国民が政治に参加し、主権者として、その意思を政治に反映させることのできる最も重要かつ基本的な機会である。

なぜ、投票率が低いのか

質問

岩出市の投票の状況について

- ①投票率に関する市の見解は。
- ②投票率向上への取組は。
- ③期日前投票所の現状と今後の課題は。
- ④高齢者や障害のある方などへの支援や手段は。
- ⑤意思の表明が困難な方への対応は。
- ⑥期日前投票所や投票所に対する市民の意見は。

答弁 市長

本市の投票率は、県内他の自治体と比較すると低い状況が続いている。

これまでも投票率向上に向けた取組を行ってきたが、残念ながら、無関心層への効果的な対策となっていないと考える。

しかしながら、2月に行われた衆院選では、投票率が前回を上回っており、政治への関心が高まりつつあると言える。

今後は、すべての世代が投票に行ける、また、行きたいと思える環境整備を進める一環として、投票事務の民間事業者の活用拡大や、期日前投票所の増設について研究するよう指示をしている。



備を進める一環として、投票事務の民間事業者の活用拡大や、期日前投票所の増設について研究するよう指示をしている。

答 弁 行政委員会事務局長

- ①②2月の衆院選での投票率は50・98%で、県内9市で最も低い数字であり、投票率向上は大きな課題であるが、前回から3・21%の増。

商業施設での啓発活動、投票を呼びかける市内放送やメール配信、小学校での模擬投票の実施などの効果と考える。

- ③期日前投票は市役所本庁舎の1か所のみで、2月の衆院選では投票者数全体の45%であり、受付に待ち時間の発生や投票所内の混雑、投票に支障が出ることで、それに対応する人員確保が課題。
- ④バリアフリーに努めており、記入が困難な方には、職員が代筆している。

⑤意思が確認できない場合は、最終的に投票の意思がないものとして扱う。



根来地区公民館

各地区公民館等が投票所となっている

⑥期日前投票所の増設や近くに投票所を設置してほしいなどの意見がある。

再質問

- ①何人の議員が投票所増設の質問をしたのか。
- ②投票所増設・期日前・当日・移動式、投票率向上に向けた対策は。

答 弁 行政委員会事務局長

- ①令和7年中開催された議会会で4名の議員。
- ②コストの課題を解決する必要はある。

増設が、投票率向上に大きく寄与するとは考えていない。

要支援者 避難体制の強化



うしだ ゆか 議員
牛田 佑佳 議員
(郁青青クラブ)

障害特性に応じた 避難所対応

一般的な避難所環境で過ごす事が難しい場合も想定。障害特性に応じた支援体制の確保が重要。

質問

障害特性によって必要な支援が異なる。受入体制の確保は。

答 弁 総務部長

【障害特性ごとの福祉避難所】

総合保健福祉センター	知的・発達・精神障害
岩出地区公民館 桜台地区公民館	聴覚障害
山崎地区公民館 根来地区公民館	肢体障害
上岩出地区公民館 紀泉台地区公民館 船山地区公民館	視覚障害

南庁舎前に建設予定の災害対策活動拠点を一時的避難所として検討。

再質問

配慮を要する方への対応強化に向けた考えは。

答 弁 総務部長

国、県の動向を踏まえ

避難所運営マニュアルの改善に努める。

特別な配慮を要する方への対応として、個別スペース確保のためのテナトパーティション等を令和8年度予算で計上した。

再々質問

福祉避難所は要配慮者の受入を基本とし、介助者等の同伴を想定。家族で避難できるスペースは。

答 弁 生活福祉部長

指定福祉避難所では、保護者や家族が付き添って避難できるスペースの確保を想定。



災害時に福祉避難所となる総合保健福祉センター

医療的ケアが 必要な方の避難体制

人工呼吸器など生命維持に医療機器を使用する場合もあり、停電や医療物資の不足時、生命維持に重大な影響が生じる。

質問

①医療的ケアが必要な方の避難先は。

②人工呼吸器など医療機器に必要な電源の確保は。

答 弁 生活福祉部長

①避難先は、個別避難計画の作成に合わせ調整。利用施設等への直接避難を優先し、遠方の場合には市内施設等を調整。

②非常用電源を備えていることが必要。市では対象者にポータブル電源等の給付を実施。県では電源確保事業を実施。

再質問

医療物資の備蓄や、医療機関との連携は。

答 弁 総務部長

防災協定を結んでいる那賀薬剤師会と連携。

答 弁 生活福祉部長

那賀圏域の連携会議で

個別避難計画とは？

災害時、いざという時にスムーズに避難できるように、どこに避難するか、避難経路や持出品、避難の際の支援者などをあらかじめ考えしておく計画のこと



避難行動要支援者のフロー図

課題共有や災害時の支援体制について議論しており、物資確保や連携についても検討を進める。

再々質問

人工呼吸器などを使用している場合、早期の避難判断が必要。避難のタイミングや情報提供は。

答 弁 生活福祉部長

市内放送やメール配信等での情報提供に加え、医療機関や当事者団体等と連携し情報を共有。医師や訪問看護師等で緊急連絡網を構築し、体制を整えたと聞いている。

発議

発議とは、議員または委員会が議案を提出することです。

発議には意見書の提出や条例の改正などがあり、「こんな仕組みにしたい！」などの提案を話し合うために議案として提出します。



詳細はこちら

意見書

発議第1号 所得税法第56条の廃止及び関連条項の見直しを求める意見書の提出について

全会一致により可決し、意見書を国の関係機関に提出しました。

(要旨)

配偶者などの家族従業者の働き分である自家労賃を経費として認めないことを規定した所得税法第56条が制定された昭和25年当時と比べると、女性の社会的進出や家族観など社会通念も大きく変化した今日、伝統的な法解釈だけで合理的な判断を下すことが困難な時代背景となっています。

また、所得税法第57条では、青色申告の特典として家族従業者の給与を必要経費に算入することが認められていますが、いわゆる白色申告においては認められない制度の矛盾があります。

よって、家族従業者の社会的地位向上及び人権の保障を目的として、所得税法第56条の廃止と関連条項の見直しを求める意見書を提出します。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣



キラリ みらい Voice

と頑張ろうと思います。
プロ野球の試合を見に行く沢山の人が笑顔になっています。ファインプレーをすると観客が大きな声で喜んでいて、その様子を見て僕もこんなふうの人に元気を与えられる選手になりたいと思います。
そのために、これからも練習を続けて、もっとうまくなりたいです。そして、見ている人を楽しませられるプロ野球選手になりたいです。



山崎小学校 6年 石川 哲大さん

僕の将来の夢は、プロ野球選手です。僕は野球が大好きで、毎日練習を頑張っています。試合でチームが勝ったとき、応援してくれてる人たちが喜んでるのを見ると、もっ



岩出小学校 6年 上田 知樹さん

皆さんは、同時に複数の頼みごとをされたらどうしますか。児童会の仕事を通じて、その場の状況に応じて正しい判断ができる大人になりたいと考えるようになりました。
目標に向けて頑張る中で、分かったことが二つあります。一つ目は、相手の話をしっかり聞く事です。情報があいまいだと、正確な判断は下せないと感じたことがあります。二つ目は、焦らない事です。何事も落ち着いて考える事で、より良いアイデアを出すことができるからです。
これからもこの二つを意識して、理想の大人になれるよう努力したいです。

★ 令和8年第2回定例会（6月）の本会議開催予定日は、次のとおりです。

●第2回定例会（6月議会）日程	
午前9時30分から	
6月11日（木）	行政報告・議案説明
17日（水）	質疑・委員会付託
25日（木）	討論・採決
29日（月）	一般質問
30日（火）	一般質問

6月11日（木）の本会議は、午前9時30分から旧和歌山県議会議事堂（根来2347-22）で開会します。ぜひ傍聴にお越しください。

なお、6月17日（水）以降の本会議は、午前9時30分から、岩出市役所の市議会議場で開きます。



議会広報常任委員会

「手に取って 読みたくなる 議会だより」を目標に紙面づくりに取り組んでいます

委員長 三栖慎太郎 副委員長 市来利恵 委員 福山晴美 西野峻也 杉本直哉 大上正春 牛田佑佳



岩出市議会ウェブサイト
https://www.city.iwade.lg.jp/site/gikai/

岩出市議会

検索

携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると
議会ウェブサイトへアクセスできます。

